



講師プロフィール



村瀬 亜紀 Aki Murase

声楽家・ソプラノ



岐阜県出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。聖徳大学大学院音楽文化研究科音楽表現専攻声楽コース博士前期課程を修了。二期会研修所第66期マスタークラスを修了。日本演奏連盟主催 新進演奏家育成プロジェクト・オーケストラ・シリーズ第79回(名古屋)にて、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。第9回江戸川新進演奏家コンクール声楽部門にて第2位を受賞。

オペラでは「フィガロの結婚」スザンナ、「魔笛」パパゲーナ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル等に出演。宗教曲ではヘンデル「メサイア」ソプラノソロを務めるほか、多数のコンサートに出演。

聖徳大学SOA音楽研究センター研修員。コンサートグループ「花の詩」会員。二期会準会員。



大島 万穂 Maho Oshima

ピアニスト



音楽高校・大学卒業、26歳で渡独、ハンブルグコンセルヴァトリウム卒業。

在独中、ピアノソロ、フルート2本のための小品、フルートとオーボエのための小品等、作曲し、初演。

帰国後も、ピアノソロ、1台4手連弾「鳥の組曲」、合唱等の作詞作曲。

現在、ピアノソロ、声楽・器楽伴奏等の演奏活動を精力的に行い、楽曲提供も行う。

また、MANTA office・ピアノ教室moinを経営し、後進の指導にあたる。

さらに、コンサートキュレーターとして、演奏と企画の両面から音楽の可能性を探究している。

加えて、自身の経験を基に、体格・手のサイズに縛られないピアノ奏法を研究している。

これまでに、ピアノを寺西ひとみ、田辺美砂子、杉野加代子、Thomas Grubmüller、アンサンブルをGundel Deckertの各氏に師事。